

校名：三重大学教育学部附属幼稚園

所在地：〒514-0062 三重県津市観音寺町 523

電話番号： 059-227-1711

記載日：28年5月20日

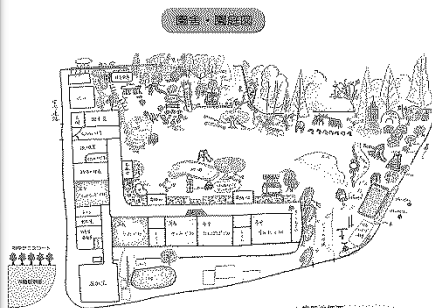
記載者：浅田美知子

記載者役職：副園長

貴校の校風、おおまかな特色について：

本園は、幼稚園要覧に「お陽さまと水と土あふれる森のようちえん」と表現しており、6000㎡の敷地に3870㎡の園庭を有する緑あふれる幼稚園です。

園庭には、48種類、100本あまりの樹木があり、その中には姫リンゴやみかん、サクランボ、ブルーベリーなど10種類の果樹を含みます。花が咲き実をつける果樹や、春になると新緑に萌え冬になると葉を落とす木々のある豊かな自然環境は、子どもたちに発見と考えることの喜びをもたらします。私たち教員は、その自然を生かして心も体も使った多様な遊びが展開できるように、子どもたちが自分から興味を持って夢中になって遊ぶ意欲を育てる環境作りをしています。そして、その環境で教師や友達と一緒に遊び、気付いたり考えたりしながら、共により楽しい学びの場を作っていくことを大事にしています。



貴校の卒業生の活躍状況について：

追跡調査はしていません。卒園後は、小学校の授業参観や話し合いを充実させています。

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

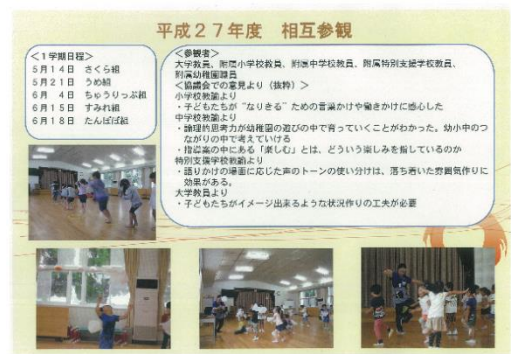
本園職員は、全員が大学採用であり異動はありません。また、最近では市町教育委員会との交流行事はありませんが、今後再開していきたいと思っています。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

①研究への取り組み



②資質向上の取り組み



「夢中になって遊ぶ姿を支える教師の援助」

～体を動かして遊ぶ活動～

をテーマとした研究の4年目です。年に2回、運動能力テストを行い、夢中になって遊ぶ中でどのような力が育っているかを、事例とデータをもとにした研修を進めています。

平成26年三重大学教育学部附属幼稚園研究紀要

自分自身の力量を高めるために、年間10回の相互参観（1人2回）を実施しています。互いの保育を見合い協議会で意見交換することで互いに支え合い、高め合っていくことにつながっています。

③英語活動への取り組み（英語特有の音声やリズムを親しむ）



「英語で遊ぼう！」

年長組に2週間に1度、小学校のALTの先生に来ていただいています。一緒に遊びながら英語に慣れ、音やリズムに親しむことが目的です。

④食育への取り組み



食べることの楽しさや食べ物への興味・関心を通して、食教育を推進しています。

⑤カレーパーティーへの取り組み



本園では、30年ほど続く取り組みです。畑に玉ねぎなどの野菜を植え卒業した小学1年生を年長児が招待し、年長児が作ったカレーを一緒に食べる取り組みです。

⑥栽培活動への取り組み



各保育室前の畑に自分たちで野菜を植え、育て、収穫し、調理し、食べる取り組みです。

⑦ニコニコタイム（園全体で体を動かす活動）

ニコニコタイム
～園全体で体を動かす活動の取り組み～

月曜日・水曜日 夕時から、**ニコニコタイムスタート!**
みんな笑顔、歌声、掛け声、リズムが園全体に響きわたるニコニコタイムが始まる。

毎週ダンス「白足」はフジの歌が大好き!毎週ダンスに楽しい、楽しい笑顔が溢れます!

音楽あそびの時間!お歌を聞きながら楽しく踊ります。踊りながら、楽しんでいます。

年中さんのハチワシダンス!みんなのダンスが揃って、楽しんでいます。

<発達障害児の取り組み>
発達障害児の発達を促すために、発達に合わせた活動の導入や声かけ、発達に合わせた指導を行います。発達に合わせた活動の導入や声かけ、発達に合わせた指導を行います。

<発達障害児の取り組みポイント>
1. 発達に合わせた活動の導入や声かけ、発達に合わせた指導を行います。
2. 発達に合わせた活動の導入や声かけ、発達に合わせた指導を行います。

<2歳年長の取り組み>
9月 音楽「あひのうた」(アヒルさん)の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
10月 年中さん「ハチワシ」(ハチワシを聴かせ)の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
11月 「ハチワシ」の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
12月 「ハチワシ」の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
1月 「ハチワシ」の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
2月 「ハチワシ」の歌を聴かせ、ダンスを入れます。
3月 「ハチワシ」の歌を聴かせ、ダンスを入れます。

決まった曜日、時間に設定することによりメリハリのある園生活がスタートでき、異年齢の子どもたちがかかわりを深めることができます。

⑧飼育活動の取り組み

飼育活動 ～養育で育てる～

園児が生き物を育て、育てる過程で、生き物の成長や命の大切さ、自然の循環などを学びます。

飼育活動の重要性:
1. 生き物の成長や命の大切さを学ぶ。
2. 自然の循環や生態系について学ぶ。
3. 責任感や忍耐心を育てる。

飼育活動の種類:
- 魚の飼育
- 鳥の飼育
- 昆虫の飼育
- 小動物の飼育

飼育活動の取り組み:
1. 飼育活動の計画を立てる。
2. 飼育活動の実施を行う。
3. 飼育活動の振り返りを行う。

毎年、各学年それぞれにねらいを持ち、蚕を飼育しています。餌（桑の葉）の調達や繭を使ったコースジュ作りなど、保護者も巻き込んだ取り組みです。

⑨保健室の取り組み

保健室のとりくみ 一保健指導

健康に安心を持ち、自ら健康意識ができる力を身に付ける。遊びの基礎となる心と体の健康を保持増進する。

保健指導の重要性:
1. 園児の健康状態を確認する。
2. 園児の健康意識を高める。
3. 園児の健康を維持・増進する。

保健指導の取り組み:
1. 園児の健康状態を確認する。
2. 園児の健康意識を高める。
3. 園児の健康を維持・増進する。

養護教諭と子どもの信頼関係をベースとした保健指導を推進しています。

⑩大学との連携

大学との連携

三重大学との連携による保育活動の充実や、職員・学生の育成について説明しています。

連携の成果:
1. 保育活動の充実。
2. 職員の資力の向上。
3. 学生の育成。

連携の取り組み:
1. 大学との連携による保育活動の充実。
2. 大学との連携による職員の資力の向上。
3. 大学との連携による学生の育成。

たくさんの場面で、教育学部の先生方と連携して保育活動や研修を行っています。

⑪三重大学教育学部四附属学校園の一貫教育の取り組み

三重大学教育学部四附属学校園一貫教育

一貫教育の目標:
1. 幼・小・中の12年間を通して、連続性・系統性のある学習を保障し、「豊かな学び」の充実のもと、生きる力を持った心豊かな子どもの育成を目指す。

平成27年度の取り組み:
1. 一貫教育推進委員会合同集会 (5月・2月)
2. 一貫教育推進委員会合同集会 (6月・10月・11月)
3. 幼・小・中の12年間を通じた教育委員の編成
4. 大学教員との協力・連携

一貫教育推進部会の組織:
1. 教科研究分野 (教科指導、生活指導、発達支援、教育の質向上、行事)
2. 学校支援分野 (生活指導、発達支援、教育の質向上、行事)

幼・小・中の12年間を通して、連続性・系統性のある学習を保障し、「豊かな学び」の充実のもと、生きる力を持った心豊かな子どもの育成を目指しています。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか

地域の教育委員会とは研修面を中心に連絡を密にしています。恒例になっている拡大園内研修では、公立の先生方や教育委員会の方々が本園の保育参観と協議会に参加し、ともに学びあっています。教育委員会の先生方からは、本園の取り組みについて大変期待されています。

本年度は①附属小学校研究会 司会

②三重県鳥羽市幼稚園教員研修会 講師

③三重県教育委員会新規採用教員研修会 講師

④津市幼稚園教員指導力向上研修会 講師

⑤男女共同参画分科会 パネリスト

⑥体力向上指導者要請研修会への参加

他

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について

①今、必要とされる分野での先進的な研究の推進

②新しい教育課程の編成と教育方法の研究

③地域の子育て支援センターとしての役割の充実発展

以上のことを絶えず考えて園運営をしています。